

講義06 ViXの使い方

ViXはエクスプローラ風画像ビューアーとされているように、画像を一覧するためのソフトです。デジカメ写真などの画像を一覧するのが基本的な機能ですが、画像の基本的な加工もできます。以下にViXの使い方の概略を図示します。引き続き、詳細操作の説明をしますが、お急ぎの方は、ViXのヘルプまたは下記のViX講座などをご覧ください。

<http://cita-1.hp.infoseek.co.jp/vkouza.htm>

ViXは
インストールしてあります



デスクトップにある
ViXのアイコンを
ダブルクリックして、
ViXを起動します。





この画面が画像画面です。
上の画像一覧の中の
縮小画像をダブル
クリックするとこのような
画像が表示されます。

ViXは画像一覧と画像の
二つの画面がありますから、
使い分けて下さい。

拡大、縮小。

画像を1枚ずつ送ります。
画像を一枚、一枚見るときに便利です。

スライドショーが
スタートします。

「編集」メニューは後から説明しま
す。



画像の名前

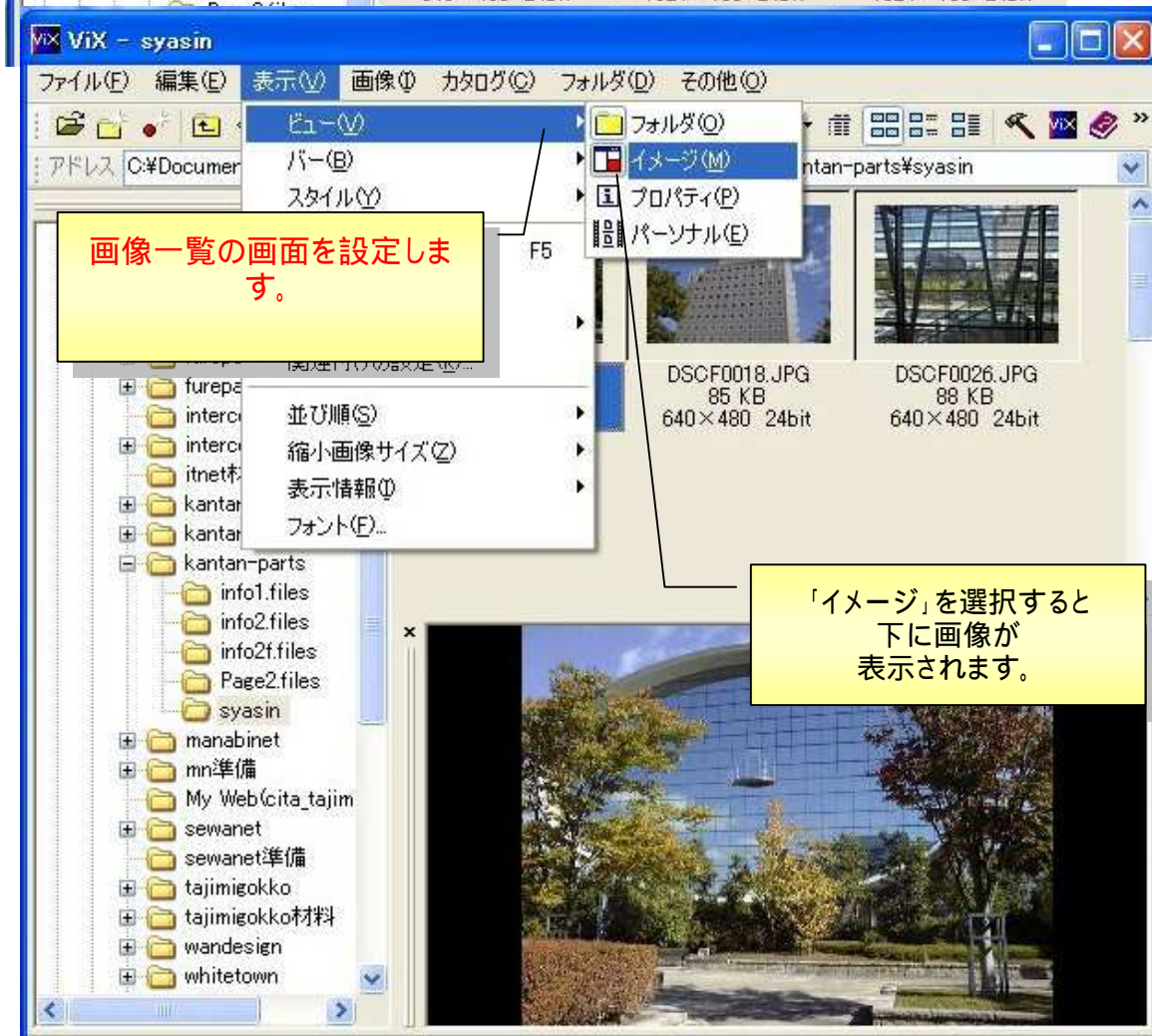
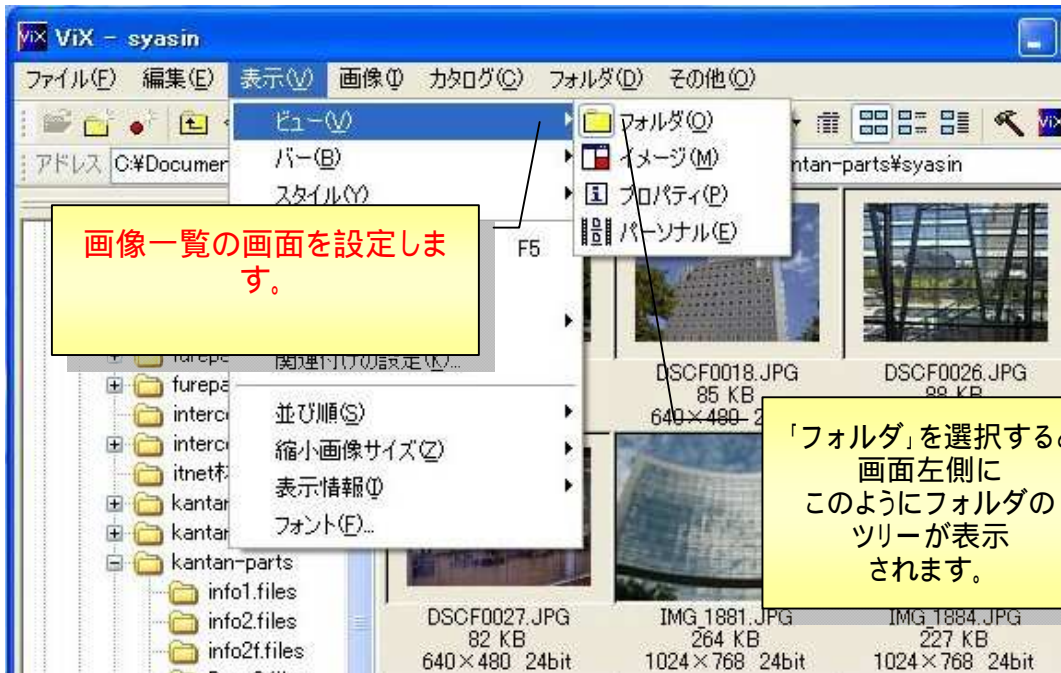
拡張子

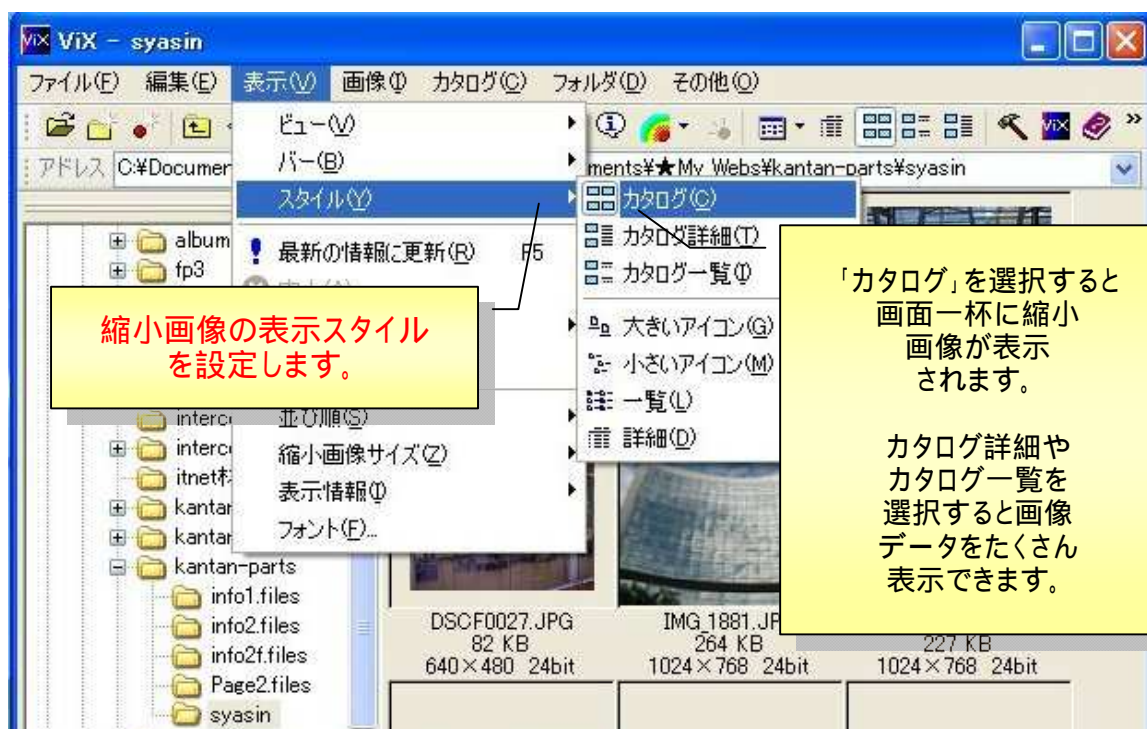
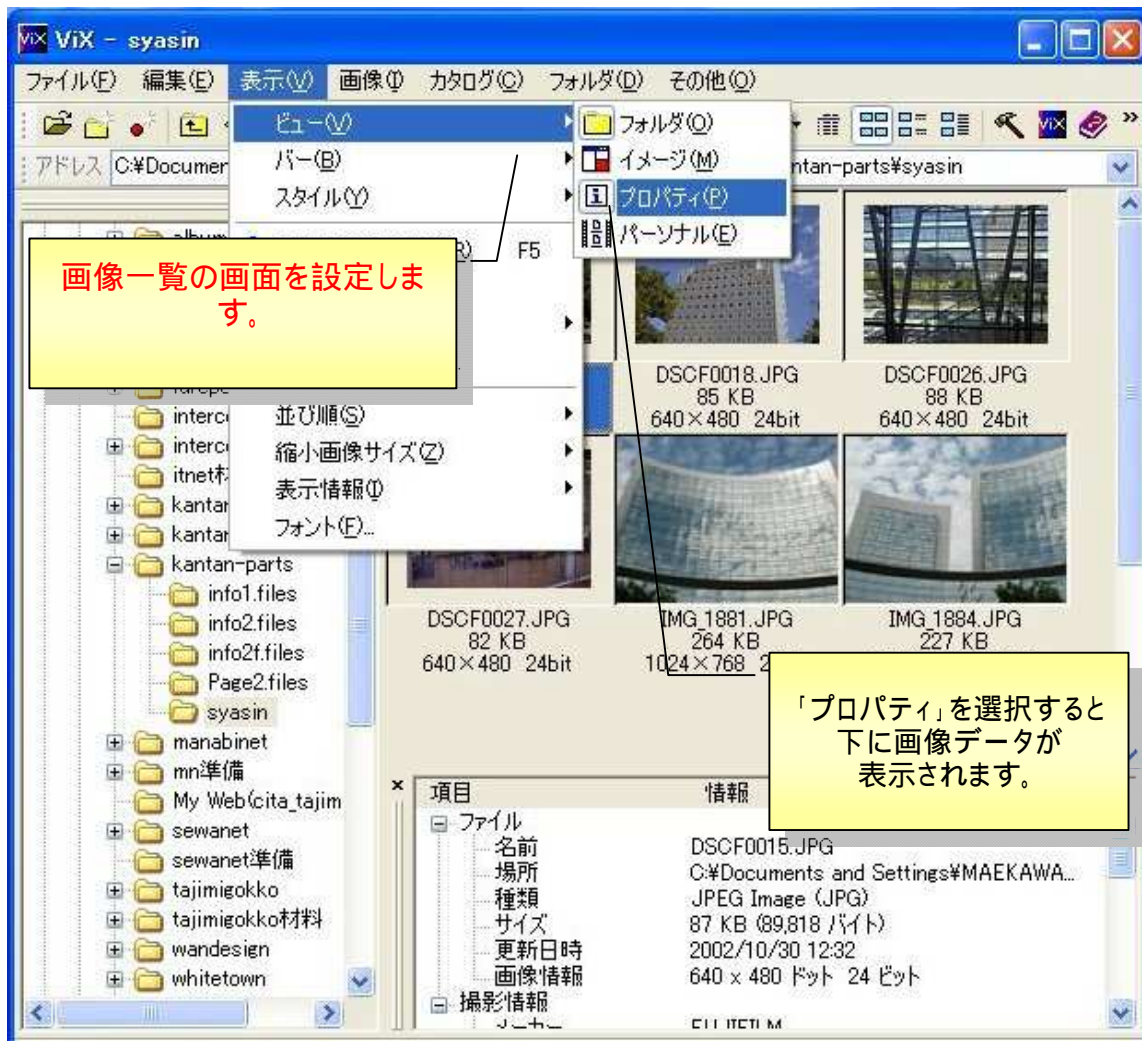
画像のサイズ

画像の情報を表示します。
チェックを入れた情報が
表示されます。

画像情報
(画像の大きさ)







画像画面の「編集」メニューには
画像加工の項目が表示されるので、
選択します。

画像一覧画面には「編集」メニュー
はありません。

ここをクリックすると
「トリミング」
「リサイズ」
「減色」
「明るさ・カラー」
「色調変換」
などの画面が
開きます。

次回から、この
画像加工の講義を
します。

「設定」をクリックすると
下記の設定画面が表示され、
ViXの設定ができます。
必要に応じて、次回以降
説明します。

ViX 設定

- 画像の表示
 - 画像ウインドウ
 - 全画面表示
 - イメージビュー
 - ファイルリスト
 - カタログ
 - 表示
 - ツリー
 - パーソナルビュー
 - カタログファイル
 - 登録禁止フォルダ
 - スライドショー
 - プラグイン
 - 起動
 - 全般
 - ファイル操作
 - 画像の保存
 - 履歴と設定情報
- ウインドウ 初期状態
 - 位置固定
 - サイズ固定
 - 自動整列
 - メニューバー
 - ツールバー
 - シークバー
- 画像サイズ調整
 - しない
 - オーバービュー
 - 画質優先
 - 速度優先
 - 倍率調整
- ウインドウ サイズ自動調整